

▶ 特集 教育支援課平成21年度重点事業

「教師力向上サポートブック」にこめる期待

教育支援課 葛西 文雄

教育支援課は、「一人ひとりの教職員の指導力の向上を図ること」をミッションのひとつとしています。

平成21年度からの3年間、「教師力向上サポートブック」を活用して、校内研修・OJT及び校外研修との関連を図った個人研修活性化プログラムに、全市的に取り組みます。このプログラムは、自己分析から個人目標を設定し、先輩や同僚とともに切磋琢磨して、自分のステージにふさわしいスキルアップを図るものです。まったく、新しいことをするのではなく、従来からの私たちの研修の手法を活用し、よりその効果を高めようとするものです。ところで、以前、ある書籍で、次のようなことを読んだ記憶があります。「すべてのプロにいえることだが、プロの能力を高める最大の方法は、

結局『同じプロたち』による『経験の蓄積と共有』しかない。一人の教師が自分自身で経験できる範囲は限られている。その所属するプロフェシヨナル全員の能力を向上するには、多くの先輩プロ・同僚プロの経験・情報が集中・蓄積され、他のプロたちに利用可能になっているかどうかである。」

これは、教職員同士が協働し学び合う環境の中で、一人ひとりの指導力が伸び、教育の営みが力強いものとなることも読み取れます。また、同僚性という言葉の重みを、私たち教職員がどのプロ集団より、大切に感じていることにも相通じることと思います。このような先輩・同僚の経験・情報からの学びがよりよく成立するためには、その集団が「プロ集団として成熟している」ところが望まれると私は考えますが、み

なさんはいかかでしょう。
「教師力向上サポートブック」は、「一人ひとりの教職員のスキルアップ」とともに、このような「プロ集団としての成熟」にも役立つてくれるものと期待しています。



平成21年度 重点事業

教育支援課 研修・研究グループ






本市が目指す学校教育ビジョンに基づき、今日的な教育課題に対応した研修を実施し、教職員の専門性と実践的指導力を高めるとともに、幅広い視野を備えた教職員の育成及び資質向上を目指します。

1

研修講座の充実

平成21年度 研修講座 123講座 152日



-  A 基本研修 ...職能に応じた資質能力と、教職員としての基本的な資質の定着・向上
-  B 専門研修 ...ライフステージ別研修、重点教育課題に対応した研修、教科・領域に関する研修
若手教師のための実践交流研修(教育アドバイザー、小学校長会との共催)
参加・体験型、実技・演習型、連続講座の充実
-  C 特別研修 ...アカデミック・社会研修(企業・大学連携講座)、夏季教育セミナー
詳細は教職員研修講座一覧をご覧ください。

2



「教師力向上サポートブック」活用の推進

教職員の資質向上を目指した研修の手引き「教師力向上サポートブック」を作成・配付し、校園内研修・OJT及び校外研修との関連を図った個人研修活性化プログラムに取り組みます。



3

研究事業の推進

-  重点課題研究推進校による研究
-  教育支援課職員による課題研究
(3本)

笹川西小学校//2年次

自ら進んで生き生きと活動する子ども

- 子どもが考えや動きを創り出しながら、夢中を継続する授業の創造-

富田中学校//2年次

学び合う生徒集団の育成 - 学習行動の評価を通して-

小山田小学校//1年次

一人ひとりが生き生きと活動し、互いに学び合う授業の創造

中部中学校//1年次

自ら学ぶ力が育つ授業づくり

-ICTを活用した授業づくり(わかる授業)-

4

ICTを活用した授業力の向上

児童用コンピュータや教職員用コンピュータをより有効に活用し、ICTを活用した授業力向上のための研修講座及び出前研修を行います。



情報モラル教育を含む情報活用能力の育成



普通教室およびコンピュータ教室でのコンピュータ活用も含めた基礎学力向上のための情報機器及びソフトウェアの活用



職員室における情報機器を利用した教材作成の推進

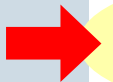


学校間のテレビ会議や共同制作も可能となります。

5

教育情報通信システムの整備，運用支援

小中学校における情報教育と学校の「情報化」の一層の推進を図るとともに、情報システム環境の充実を図ります。



次号には、引き続き
重点事業として行う

・ 教師力向上サポートブックの活用について
・ ICTを活用した授業

について紹介します。

平成21年度
重点事業

教育支援課 特別支援教育・相談グループ

1

特別支援学級担任への訪問支援

特別支援学級の担任経験が5年以下の教員及びそれ以外の訪問支援を希望する教員を対象に、訪問支援を行います。これにより、経験の浅い特別支援学級担任等が、子ども一人一人に応じた個別の支援計画の立て方や授業での子どもへの支援の仕方等について研修し、特別支援学級担任としての力量を高めていきます。また教育支援課とのつながりを深め、継続的に支援や相談を受けられるようになります。

原則として、午前中に授業見学，放課後に指導を行います。

2

小栗先生の巡回教育相談

元宮川医療少年院院長であり発達障害等の子どもへの支援について見識が深い小栗正幸先生が学校を訪問。発達障害等の特性がある子どもの様子を見たとうえで、どのような支援が有効であるかについて助言を行います。

3

教育相談

不登校や心に悩み・不安のある子どもへの支援として、相談員やセラピストがカウンセリングや諸検査、プレイセラピー等を行います。また、引きこもりがちな子どもの家庭に、学生ボランティア（ふれあいフレンド）を派遣し、子どもの心の安定を図り、自立への支援を行います。

障害や発達上の課題等のある子どもへの支援として、来所相談、学校・園への巡回教育相談を行います。面接や諸検査も実施します。

4

相談支援ファイルの活用

乳幼児から学校卒業まで、特別な支援が必要な子どもへの支援が途切れることのないように、相談支援ファイルを活用します。これにより次のような効果が期待できます。

1. 就学先で作成する「個別の教育支援計画」にスムーズに移行するための情報を整理することができる。
2. 保護者が関係機関にかかるときに、子どもについて何度も同じことを語る負担を軽減することができる。
3. 医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関による情報の共有化を図ることができる。



5

アンダー8事業（四日市市発達障害等のある子どもへの早期支援事業）（予定）

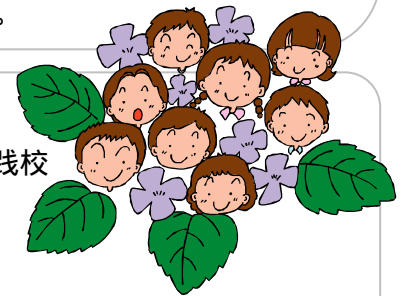
巡回教育相談等を受けた子どものうち、知的な遅れはないが次のような課題をもつ子どもを対象にして、3つの教室を9月から開始します。早期からの対応を行い、自己肯定感や自信をもって学校生活を送るための支援をします。

1. ソーシャルスキルトレーニング（保護者へのペアレントトレーニングを含む）教室
コミュニケーション力や社会性に課題があるために集団活動への適応がうまくいかない4歳から小学校2年生までの幼児・児童。
2. 幼児のためのことばの教室
話しことばに課題のある4、5歳の幼児。
3. 3R教室（読み書き等の個別支援教室）
読み・書き・計算に課題のある小学校1、2年生の児童。

6

特別支援教育の実践研究をします。

- ・（国）自閉症に対応した教育課程の在り方に関する調査研究実践校
西日野にじ学園・四郷小学校・笹川中学校
- ・（県）特別支援教育総合推進事業実践研究指定校
三重西小学校



次号には、引き続き
重点事業として行う

- ・ 地域特別教育支援コーディネーター・通級指導教室
 - ・ 校園内特別支援教育体制作りサポートブック
 - ・ 適応指導教室（ふれあい教室）
- について紹介します。